

大和市 橋りょう長寿命化修繕計画 (個別施設計画)



(写真：目黒橋)

令和7年3月



目 次

1.	長寿命化修繕計画の背景と目的.....	1
1.1.	背景.....	1
1.2.	目的.....	3
2.	長寿命化修繕計画の対象施設.....	4
3.	健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針.....	5
3.1.	健全性の把握.....	5
3.2.	日常的な維持管理に関する基本的な方針.....	5
4.	計画全体の方針.....	6
4.1.	老朽化対策における基本方針.....	6
4.2.	新技術等の活用方針.....	9
4.3.	費用の縮減に関する具体的な方針.....	9
5.	計画全体の目標.....	10
5.1.	集約・撤去や新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果.....	10
6.	計画対象期間における事業計画.....	11
7.	長寿命化修繕計画による効果.....	12
8.	意見聴取した学識経験者、計画策定部署.....	13
8.1.	意見聴取した学識経験者.....	13
8.2.	計画策定部署.....	13

【別紙1】個別の構造物ごとの事項

- ・ 構造物の諸元
- ・ 直近における点検結果及び次回点検年度
- ・ 対策内容
- ・ 対策の着手・完了予定年度
- ・ 対策に係る全体概算事業費

1. 長寿命化修繕計画の背景と目的

1.1. 背景

平成19年4月に、国が地方公共団体に通知した「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度要綱¹」により、従来の事後的な修繕及び架替えから、予防的な修繕へ政策転換を図ることが求められるようになりました。このため、平成23年度に点検を行った橋長15m以上の40橋について、平成25年2月に橋りょう長寿命化修繕計画を策定しました。

その後、国が平成25年11月に策定した「インフラ長寿命化基本計画²」に基づき、道路管理者は、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにする「インフラ長寿命化計画」を策定することが求められました。これを受け、本市では「大和市公共施設等総合管理計画」を策定しています。さらに、その計画に基づき、個別施設毎の具体の対応方針を定める「長寿命化修繕計画（個別施設計画）」を策定することが求められました。本計画は、個別施設計画の内、「橋りょう長寿命化計画」に位置付けられます。

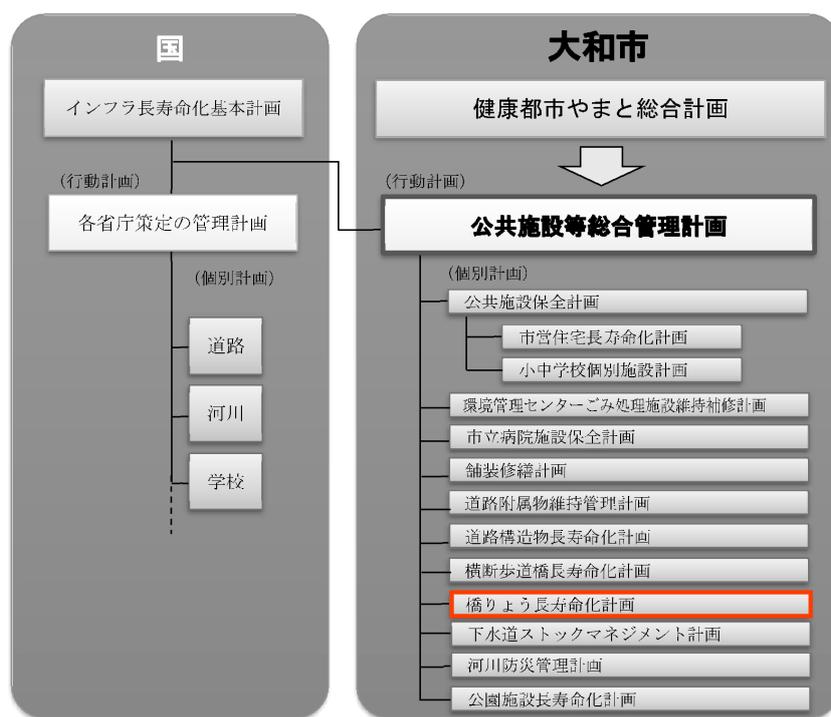


図1-1 計画の体系図³

¹ 長寿命化修繕計画策定事業費補助制度要綱は、メンテナンス事業補助制度要綱（令和2年3月31日）の通知により廃止されています。

² インフラ長寿命化基本計画は、平成25年6月に閣議決定した「日本再興戦略」に基づき、インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議において、同年11月にとりまとめられた基本計画です。

³ 大和市公共施設等総合管理計画（改訂版）（令和4年3月改訂）p.2

平成26年度には、橋長2m以上の44橋の点検を追加し、令和27年3月に橋りょう長寿命化修繕計画を改定しました。

平成26年7月には、道路法施行規則の一部改正が施行され、5年に1回の頻度で近接目視により定期点検を行うことが基本となりました⁴。これを踏まえ、平成28年度から平成30年度に定期点検を実施し、令和2年3月に橋りょう長寿命化修繕計画を改定しました。令和5年3月には一部改定を行い「新技術等の活用方針及び集約・撤去や新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びコスト縮減効果」を追記しました。本計画は、令和3年度から令和5年度に定期点検を実施した91橋について、橋りょう長寿命化修繕計画を改定するものになります。

表1-1 橋りょう長寿命化修繕計画の策定経緯

年版	計画対象橋梁数		備考
平成25年2月	40橋	橋長1.5m以上	策定
平成27年3月	84橋	橋長2m以上	改定
令和2年3月	89橋		改定 ⁵
令和5年3月			一部改定（新技術等の活用方針を追加）
令和7年3月	91橋		改定 ⁶

⁴ 道路法施行規則第四条の五の六

⁵ 道路法施行規則の一部改正後、平成26年度から平成30年度の5年間に実施した定期点検（いわゆる「1巡目点検」）を踏まえて作成した長寿命化修繕計画です。

⁶ 道路法施行規則の一部改正後、令和元年度から令和5年度の5年間に実施した定期点検（いわゆる「2巡目点検」）を踏まえて作成した長寿命化修繕計画です。

1.2. 目的

長寿命化修繕計画の目的は、以下の通りとします。

- ・ 定期点検の結果や施設の重要性を踏まえた修繕の優先順位を設定することで、効率的に修繕を実施します。
- ・ 修繕計画を踏まえたメンテナンスサイクルを構築することで、橋りょうの長寿命化、大規模修繕の回避、中長期的なトータルコストの縮減及び予算の平準化を図ります。

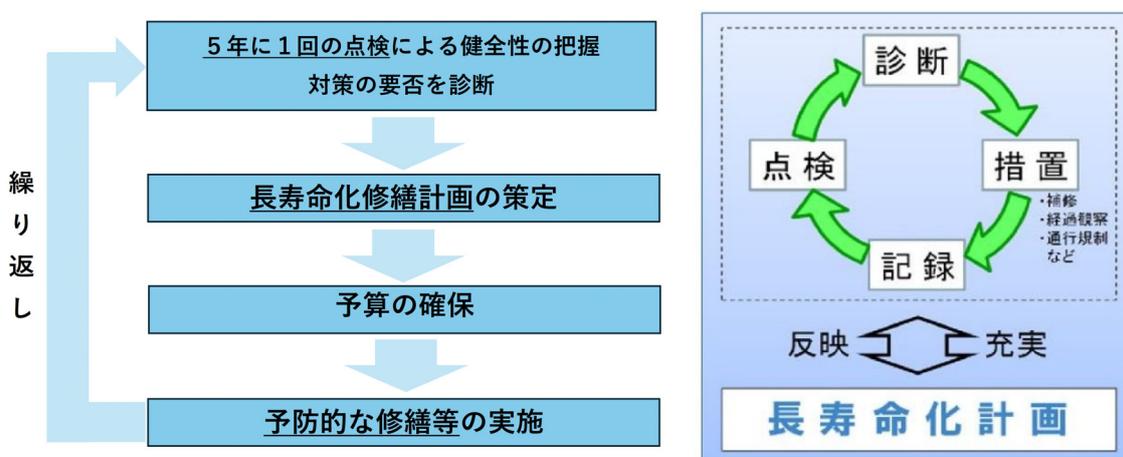


図1-1 長寿命化修繕計画の目的⁷

⁷ 道路のメンテナンスサイクルの構築に向けて(平成25年6月 社会資本整備審議会 道路分科会 道路メンテナンス技術小委員会)における、「道路メンテナンス技術小委員会の中間とりまとめについて」及び「第4回道路メンテナンス技術小委員会 配布資料」より

2. 長寿命化修繕計画の対象施設

(1) 対象橋りょうの名称及び諸元

対象橋りょうの名称及び諸元は別紙1の通りです。

(2) 対象橋りょうの道路条件

対象橋りょうの道路条件は表2-1の通りです。

表2-1 道路条件

緊急輸送道路 ⁸	緊急輸送道路 補完道路 ⁹	その他道路 ¹⁰	合計
0	8	83	91

(3) 対象橋りょうの桁下条件

対象橋りょうの桁下条件は表2-2の通りです。

表2-2 桁下条件

緊急輸送 道路 ⁸	緊急輸送 道路補完 道路 ⁹	その他道 路 ¹⁰	鉄道	河川・水 路	その他	合計
6	5	8	11	61	0	91

⁸ 緊急輸送道路とは、地震等の大規模災害発生直後から救助活動人員や物資等の緊急輸送を円滑かつ確実に
行うための道路です。

⁹ 緊急輸送道路補完道路とは、大和市中で指定した緊急輸送道路を補完する道路です。

¹⁰ その他道路とは、緊急輸送道路、緊急輸送道路補完道路以外の道路です。

3. 健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

3.1. 健全性の把握

本市では、令和3年度から令和5年度に91橋の定期点検を実施しました。点検結果は、表3-1に示す、健全性の診断の区分（以下「健全性」という。）に分類しています。計画対象橋りょうの健全性は別紙1の通りです。

表3-1 健全性の診断の区分¹¹

健全性		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

3.2. 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋りょうを良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロールや清掃などを行います。

¹¹ トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示（平成二十六年国土交通省告示第四百二十六号）

4. 計画全体の方針

4.1. 老朽化対策における基本方針

(4) 適用方針

本計画は「橋梁長寿命化修繕計画基本方針¹²⁾」に基づき策定することを基本とします。

(5) 管理水準

健全性Ⅰを管理水準とします。よって、修繕した橋りょうは、健全性Ⅰに回復させます。

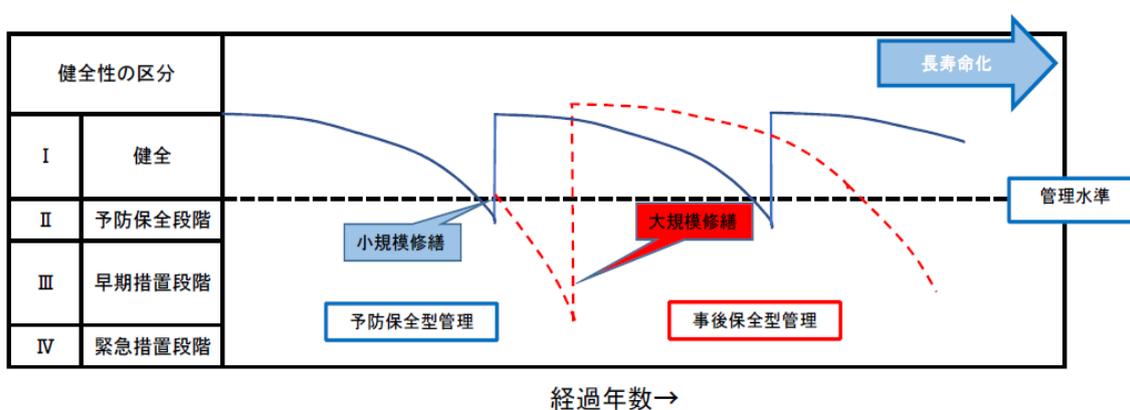


図4-1 管理水準¹³⁾

¹²⁾ 橋梁長寿命化修繕計画基本方針とは、神奈川県内の市町村が管理する橋りょうにおいて、道路管理者が統一的な管理及び効率的な維持管理を実施することを目的として策定された基本方針のことです。令和5年4月に（公財）神奈川県都市整備技術センターが策定しています。

¹³⁾ 橋梁長寿命化修繕計画基本方針 p.4

(6) 管理方針

橋りょうの管理方針は、「予防保全型」を基本とします。予防保全型は、健全性がⅡとなった段階で、予算の範囲内で必要な対策を計画的に実施します。ただし、第三者被害のおそれの無い溝橋や単径間の床版橋等で、構造特性や周辺状況により、大規模修繕を行う際の社会的影響が小さいと判断した橋りょうについては「事後保全型」で管理します。事後保全型は、健全性がⅢとなった段階で対策します。表4-1に予防保全型の管理方針、表4-2に事後保全型の管理方針を示します。計画対象橋りょうの管理方針は別紙1の通りです。

表4-1 予防保全型の管理方針¹⁴

健全性		管理方針	修繕優先度
I	健全	健全な状態であるため、修繕の対象外とします。	(低い)  (高い)
II	予防保全段階	<u>予防保全の観点から、予算の範囲内で必要な対策を計画的に実施します。</u>	
III	早期措置段階	5年以内に優先して修繕を実施することを基本とします。	
IV	緊急措置段階	緊急措置が必要な状態であるため、本計画の対象外とします。	

表4-2 事後保全型の管理方針¹⁴

健全性		管理方針	修繕優先度
I	健全	健全な状態であるため、修繕の対象外とします。	(低い)  (高い)
II	予防保全段階	<u>修繕の対象外とします。</u>	
III	早期措置段階	5年以内に優先して修繕を実施することを基本とします。	
IV	緊急措置段階	緊急措置が必要な状態であるため、本計画の対象外とします。	

¹⁴ 橋梁長寿命化修繕計画基本方針 p.4,p.9 (一部修正)

(7) 修繕の優先順位

効率的に修繕を実施するため、修繕の優先順位を設定します。修繕の優先順位は、橋りょうの健全性、対策区分¹⁵及び重要度指標¹⁶により、図4-2の通りとします。

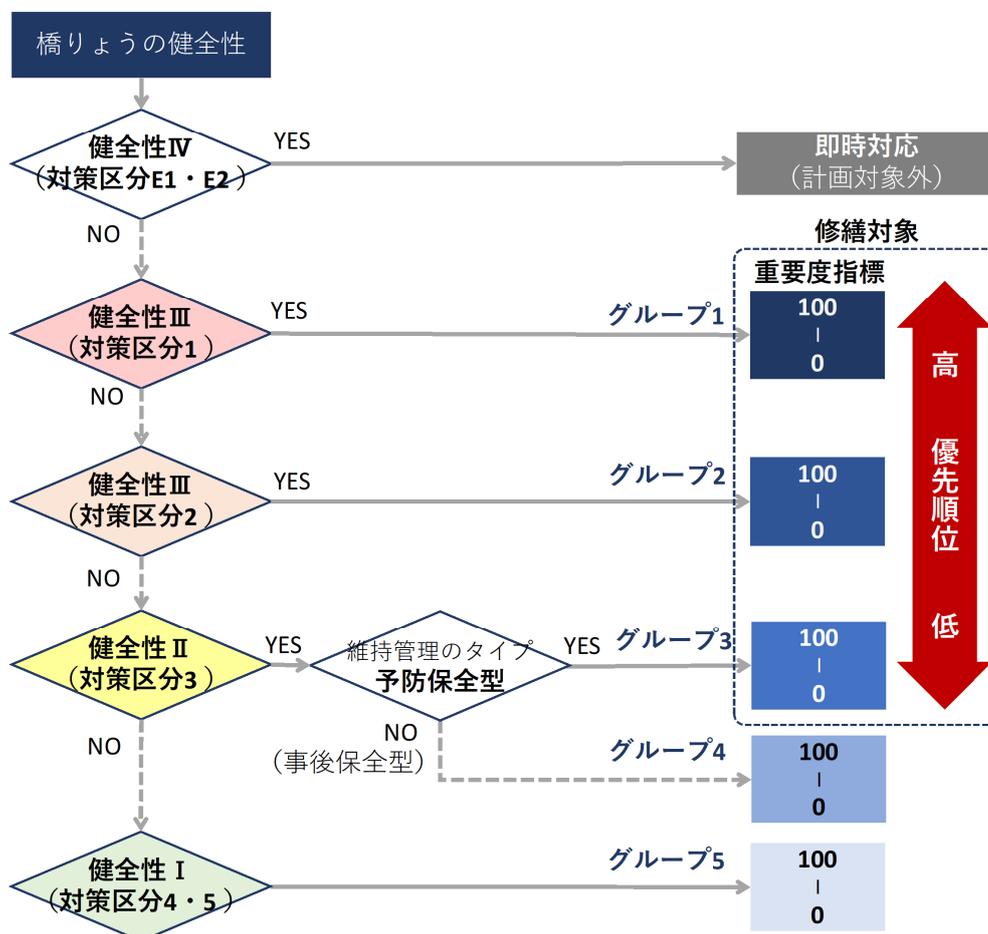


図4-2 修繕の優先順位¹⁷

¹⁵ 対策区分とは、神奈川県市町村版定期点検要領【橋梁編】に基づき判定された数値です。

¹⁶ 重要度指標は、利用者・第三者・管理者の視点で評価項目と配点を設定し、その合計点数により施設の重要度を評価したものです。

¹⁷ 橋梁長寿命化修繕計画基本方針 p.23 (一部修正)。

4.2. 新技術等の活用方針

集約・撤去に関する方針は、以下の通りとします。

- ・ 今後、橋りょうの維持管理・更新費の増加が懸念される中、持続可能な道路管理を実現するため、老朽化対策の一つとして、地域の実情や利用状況などに応じて、集約・撤去を検討していきます。

新技術等の活用方針は、以下の通りとします。

- ・ 定期点検を実施する際は、点検支援技術性能カタログ¹⁸を参考にして、点検支援技術の活用を積極的に検討します。
- ・ 修繕を実施する際は、新技術情報提供システム (NETIS)¹⁹等を参考にして、新技術・新工法の活用を積極的に検討します。

4.3. 費用の縮減に関する具体的な方針

費用の縮減に関する具体的な方針は、以下の通りとします。

- ・ 橋りょうごとに最適な管理方針を決定することで、ライフサイクルコストの縮減を図ります。
- ・ 定期点検や修繕において、新技術等を積極的に活用することにより、事業の効率化やコスト縮減を図ります。
- ・ 利用状況などから、集約・撤去が可能な橋りょうについては、地域住民との合意形成や関係機関との調整を進めていきます。集約・撤去の実現により、維持管理の効率化やコスト縮減を図ります。

¹⁸ 点検支援技術性能カタログとは、道路構造物の点検の効率化・高度化を推進するため、国土交通省が定めた標準項目に対する性能値を開発者に求め、開発者から提出されたものをカタログ形式でとりまとめたものです。

¹⁹ 新技術情報提供システム (NETIS) とは、新技術の活用のため、国土交通省が新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として整備したデータベースシステムのことです。

5. 計画全体の目標

5.1. 集約・撤去や新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

(1) 集約・撤去に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

利用状況がほとんど無く、迂回路が存在する1橋について、2029年度（令和11年度）までに集約・撤去を目指します。集約・撤去により、5年間に要する維持管理費を26万円縮減します。

(2) 新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

1) 定期点検

橋梁点検車やロープアクセス工法により点検している1橋について、2029年度（令和11年度）までに点検支援技術の活用を目指します。点検支援技術の活用により、5年間に要する点検費用を5万円縮減します。

2) 修繕

本計画の対象期間内で修繕を行う2橋について、2029年度（令和11年度）までに新技術・新工法の活用を目指します。新技術・新工法の活用により、5年間に要する修繕費用を180万円縮減します。

6. 計画対象期間における事業計画

(1) 計画対象期間

本計画の対象期間は、2025年度（令和7年度）から2029年度（令和11年度）とします。

(2) 対策内容

2025年度（令和7年度）から2029年度（令和11年度）の対策内容は、別紙1の通りとします。

(3) 次回の点検年度

次回の定期点検は、2026年度（令和8年度）から2028年度（令和10年度）に実施します。対象橋りょうごとの次回点検年度は、別紙1の通りとします。

(4) 次回の長寿命化修繕計画の改定年度

次回の改定は2029年度（令和11年度）に実施します。

7. 長寿命化修繕計画による効果

計画対象橋りょうについて、損傷が軽微なうちに修繕を行う「予防保全型²⁰」と、損傷が深刻化してから大規模修繕を行う「事後保全型」で、50年間に要する費用をシミュレーションしました。

シミュレーション結果より、予防保全型による修繕費用は33.5億円、事後保全型による修繕費用は43.2億円となりました。予防保全型の維持管理をすることにより、約23%のコスト削減効果（差額約9.7億円）が見込まれます²¹。

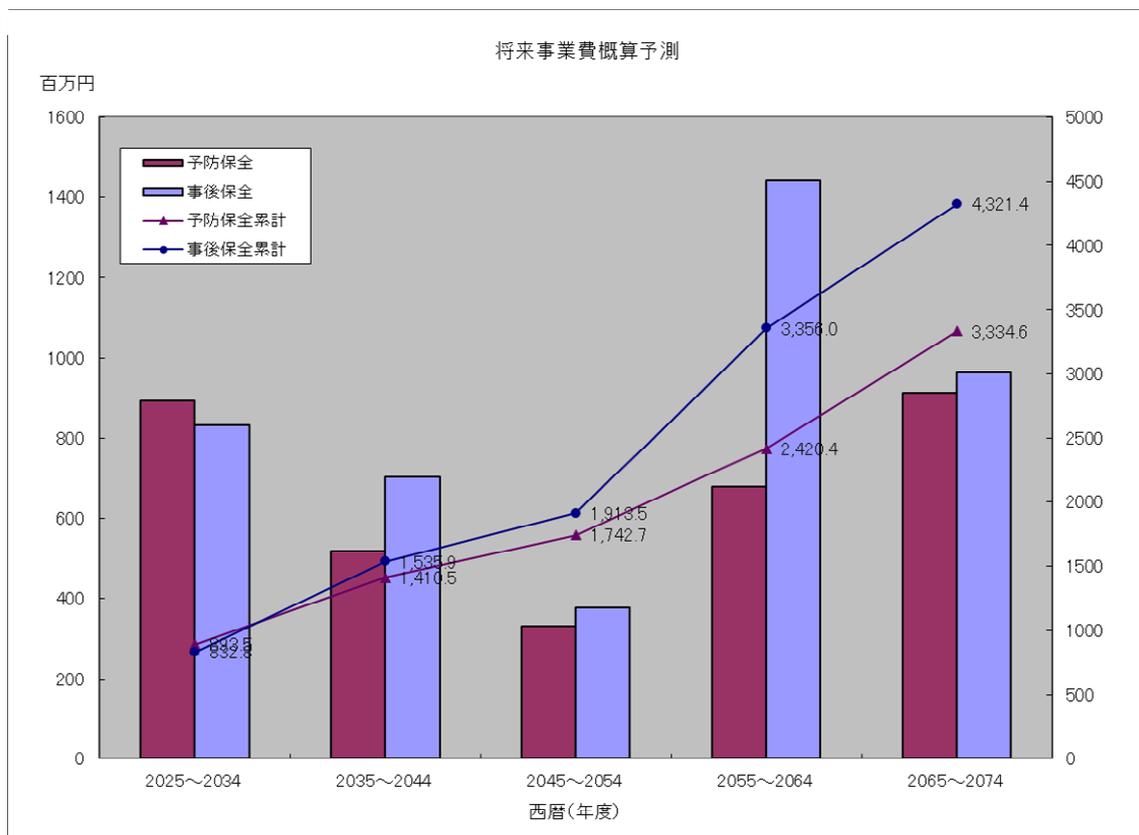


図7-1 50年間の修繕費用の試算

²⁰このシミュレーションで定義する「予防保全型」とは、別紙1に記載した管理方針とします。

²¹今後、定期点検データを蓄積していくことで、さらなる精度向上が図れるため、現在の値に固定化されるものではありません。

8. 意見聴取した学識経験者、計画策定部署

8.1. 意見聴取した学識経験者

関東学院大学 理工学部	出雲 淳一 教授
横浜国立大学 大学院 都市イノベーション研究院	勝地 弘 教授

8.2. 計画策定部署

大和市 街づくり施設部 道路管理課
TEL : 046-263-1111 (代表)

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				管理方針	直近における点検結果		次回点検年度	対策内容 2025 (R7) 年度～2029 (R11) 年度
	橋りょう名	橋長 (m)	橋梁形式	竣工年		点検年度	健全性 (対策区分)		
1	草柳橋	16.65	鋼橋	1974 (S49)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
2	柳橋	50.00	鋼橋	1975 (S50)	予防保全型	2023 (R5)	II (3)	2028 (R10)	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
3	第1下和田跨線橋	34.35	RC橋	1963 (S38)	予防保全型	2021 (R3)	III (2)	2026 (R8)	ひび割れ補修、剥落防止、伸縮装置取替え
4	宮久保橋	30.20	PC橋	1975 (S50)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
5	大和3号橋	70.00	PC橋	1968 (S43)	予防保全型	2022 (R4)	II (3)	2027 (R9)	ひび割れ注入、断面修復、舗装打換
6	大和7号橋	84.00	PC橋	1968 (S43)	予防保全型	2022 (R4)	III (2)	2027 (R9)	ひび割れ注入、断面修復、舗装打換
7	下草柳橋	17.50	PC橋	1977 (S52)	予防保全型	2022 (R4)	I (4)	2027 (R9)	
8	緑橋	30.70	PC橋	1971 (S46)	予防保全型	2022 (R4)	II (3)	2027 (R9)	ひび割れ注入、断面修復
9	富士見橋	73.60	鋼橋	1973 (S48)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
10	いちょう橋	21.20	鋼橋	1972 (S47)	予防保全型	2023 (R5)	II (3)	2028 (R10)	ひび割れ注入、断面修復
11	公所橋	32.70	鋼橋	1976 (S51)	予防保全型	2021 (R3)	I (4)	2026 (R8)	
12	目黒橋	33.50	鋼橋	1974 (S49)	予防保全型	2023 (R5)	II (3)	2028 (R10)	塗装塗替、耐震補強
13	鹿島橋	25.05	鋼橋	1986 (S61)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
14	上和田1号橋	29.00	PC橋	1973 (S48)	予防保全型	2023 (R5)	II (3)	2028 (R10)	
15	上和田2号橋	29.00	PC橋	1975 (S50)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
16	大和1号橋	64.00	PC橋	1968 (S43)	予防保全型	2022 (R4)	II (3)	2027 (R9)	ひび割れ注入、断面修復、舗装打換
17	大和2号橋	75.00	PC橋	1968 (S43)	予防保全型	2022 (R4)	II (3)	2027 (R9)	ひび割れ注入、断面修復
18	大和4号橋	70.30	PC橋	1968 (S43)	予防保全型	2022 (R4)	II (3)	2027 (R9)	ひび割れ注入、断面修復、伸縮取替
19	高木橋	28.68	鋼橋	1974 (S49)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
20	二津屋橋	28.80	鋼橋	1975 (S50)	予防保全型	2022 (R4)	II (S)	2027 (R9)	
21	城山橋	21.10	PC橋	1976 (S51)	予防保全型	2022 (R4)	II (3)	2027 (R9)	ひび割れ注入、伸縮取替、舗装打換
22	つきみ野橋	25.50	RC橋	1974 (S49)	予防保全型	2022 (R4)	II (3)	2027 (R9)	
23	上野橋	26.00	RC橋	1975 (S50)	予防保全型	2022 (R4)	I (4)	2027 (R9)	
24	草柳6号橋	21.80	PC橋	1979 (S54)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				管理方針	直近における点検結果		次回点検年度	対策内容 2025 (R7) 年度～2029 (R11) 年度
	橋りょう名	橋長 (m)	橋梁形式	竣工年		点検年度	健全性 (対策区分)		
25	六軒支線1号橋	16.65	PC橋	1977 (S52)	予防保全型	2023 (R5)	II (3)	2028 (R10)	
26	大下さくら橋	67.90	PC橋	1997 (H9)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
27	公所桜橋	26.00	PC橋	1996 (H8)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
28	第1八軒町跨線橋	29.07	RC橋	1963 (S38)	予防保全型	2021 (R3)	III (2)	2026 (R8)	断面修復、表面保護
29	蓮寺跨線橋	27.96	RC橋	1963 (S38)	予防保全型	2021 (R3)	III (2)	2026 (R8)	ひび割れ注入、表面保護工
30	一軒家跨線橋	26.32	RC橋	1963 (S38)	予防保全型	2021 (R3)	III (2)	2026 (R8)	断面修復、表面保護工
31	原福田跨線橋	27.15	RC橋	1963 (S38)	予防保全型	2021 (R3)	III (2)	2026 (R8)	2024 (R6) 年度修繕済み
32	十軒家跨線橋	26.71	RC橋	1963 (S38)	予防保全型	2021 (R3)	III (2)	2026 (R8)	ひび割れ注入、断面修復等
33	若宮跨線橋	27.30	RC橋	1963 (S38)	予防保全型	2021 (R3)	III (2)	2026 (R8)	2023 (R5) 年度修繕済み
34	下鶴間橋	17.20	鋼橋	1984 (S59)	予防保全型	2022 (R4)	III (2)	2027 (R9)	ひび割れ注入、断面修復、沓座モルタル補修
35	草柳6号橋(側道)	32.00	鋼橋	1989 (S64)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
36	神明橋	22.60	PC橋	1999 (H11)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
37	若宮橋	23.00	PC橋	1999 (H11)	予防保全型	2022 (R4)	I (4)	2027 (R9)	
38	福寿橋	23.05	PC橋	2007 (H19)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
39	福田11号橋	21.00	PC橋	2004 (H16)	予防保全型	2022 (R4)	I (4)	2027 (R9)	
40	幸福橋	22.00	PC橋	2005 (H17)	予防保全型	2022 (R4)	I (4)	2027 (R9)	
41	福田13号橋	21.22	PC橋	1995 (H7)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
42	福田橋	21.90	PC橋	2009 (H21)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
43	上草柳2号橋	13.17	PC橋	1980 (S55)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
44	上草柳4号橋	13.30	PC橋	1978 (S53)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
45	中村橋	12.10	PC橋	1977 (S52)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
46	草柳3号橋	13.58	PC橋	1982 (S57)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
47	草柳2号橋	11.54	PC橋	1979 (S54)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
48	草柳1号橋	14.40	PC橋	1982 (S57)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				管理方針	直近における点検結果		次回点検年度	対策内容 2025(R7)年度～2029(R11)年度
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年		点検年度	健全性 (対策区分)		
49	境橋	13.40	PC橋	1978 (S53)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
50	福田1号橋	12.70	PC橋	1998 (H10)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
51	山王橋	13.66	PC橋	1996 (H8)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
52	下山王橋	13.10	PC橋	1992 (H4)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
53	御嶽橋	13.20	PC橋	1989 (S64)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
54	山下橋	13.40	PC橋	1986 (S61)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
55	本八幡橋	8.40	PC橋	1978 (S53)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
56	八幡橋	12.66	PC橋	1978 (S53)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
57	福田5号橋	9.90	PC橋	1974 (S49)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
58	福田6号橋	9.20	PC橋	1970 (S45)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
59	福田14号橋	9.90	PC橋	1970 (S45)	予防保全型	2018 (H30)	II (3)	2026 (R8)	2019(R1)年度修繕済み
60	福田8号橋	22.70	PC橋	2015 (H27)	予防保全型	2023 (R5)	I (M)	2028 (R10)	
61	つきみ野6号橋	5.25	PC橋	1970 (S45)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
62	つきみ野7号橋	5.25	PC橋	1970 (S45)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
63	つきみ野8号橋	6.30	PC橋	1970 (S45)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
64	つきみ野9号橋	8.60	PC橋	1970 (S45)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
65	つきみ野10号橋	8.60	PC橋	1970 (S45)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
66	つきみ野11号橋	6.60	PC橋	1970 (S45)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
67	つきみ野12号橋	6.70	PC橋	1970 (S45)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
68	下鶴間1号橋	7.80	PC橋	1972 (S47)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
69	下鶴間5号橋	7.20	鋼橋	1971 (S46)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
70	島津1号橋	2.00	RC橋	1972 (S47)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
71	下草柳1号橋	7.50	溝橋	1957 (S32)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
72	泉の森人道橋	3.80	RC橋	1980 (S55)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				管理方針	直近における点検結果		次回点検年度	対策内容 2025(R7)年度～2029(R11)年度
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年		点検年度	健全性 (対策区分)		
73	渋谷1号橋	11.10	PC橋	1988 (S63)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
74	つきみ野1号橋	3.00	溝橋	1970 (S45)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
75	つきみ野2号橋	3.00	溝橋	1970 (S45)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
76	つきみ野3号橋	3.00	溝橋	1970 (S45)	事後保全型	2023 (R5)	II (3)	2028 (R10)	
77	つきみ野4号橋	3.00	溝橋	1970 (S45)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
78	つきみ野5号橋	3.00	溝橋	1970 (S45)	予防保全型	2023 (R5)	II (3)	2028 (R10)	
79	下鶴間2号橋	6.20	溝橋	1974 (S49)	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
80	坂上橋	22.90	RC橋	1971 (S46)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
81	上草柳1号橋	3.50	RC橋	1978 (S53)	事後保全型	2023 (R5)	II (3)	2028 (R10)	
82	上草柳3号橋	5.05	PC橋	不明	事後保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
83	福田15号橋	8.20	RC橋	1967 (S42)	事後保全型	2023 (R5)	II (3)	2028 (R10)	
84	福田7号橋	16.70	PC橋	2021 (R3)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
85	入村橋	28.80	鋼橋	1986 (S61)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
86	下鶴間2号橋側道橋	7.00	鋼橋	不明	事後保全型	2023 (R5)	II (3)	2028 (R10)	
87	坂上橋側道橋	52.93	PC橋	1971 (S46)	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
88	渋谷2号橋	14.70	溝橋	不明	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
89	渋谷4号橋	14.70	溝橋	不明	予防保全型	2023 (R5)	I (4)	2028 (R10)	
90	東原北橋	5.00	溝橋	不明	予防保全型	2021 (R3)	I (4)	2026 (R8)	
91	東原南橋	5.00	溝橋	不明	予防保全型	2021 (R3)	II (3)	2026 (R8)	

※補修設計等により対策の内容が変更することもあります。